

研究代表者 所属・職：教育・心理学部こども学科

氏 名：松山 有美

研究課題名：子どもの多様性を保障する民主主義的な保育：理論構築と実践への展開に関する研究

### 研究の概要

本研究は、「保育における多様性はいかにして保障されるのか」をカナダの保育実践を対象に、その解を導き出すことを目的とした。これまでの多様性研究の多くは、「障害児保育」と「多文化保育」の研究領域を中心にマジョリティとマイノリティを共生させるという多様性について狭義の解釈に留まっているという限界があった。そこで本研究では、すべての子どもが尊重される「民主主義的保育」に着目することで、この分断を架橋し、子どもの権利が保育制度や実践にいかに取り込まれているかを解明する。最終的には、子どもの権利侵害が社会的課題となっている日本社会への提言の策定を目指す。

### 達成状況・成果内容

従来の多様性研究は「定型発達児」と「それ以外」また「マジョリティ」と「マイノリティ」という二分法に基づいた共生を重視してきた。それゆえ、従来の研究アプローチは領域の分断を招き、多様性保障を狭義なものに限定してきた。そこで本研究は、そのアプローチを問い直し、いかにして広義の多様性保障が可能になるのかを「民主主義的な保育」に着目して研究を進めた。具体的には、民主主義的な価値観を社会の前提とするカナダの保育現場を調査し、すべての子どもの人権が保障される保育の理論と実践の様相を明らかにするための基礎的な調査及び今後の研究に向けた準備を行なった。